

# 平成26年度 水道部 施策展開方針 報告書

## 1. まちづくり政策(水道部関係分)

政策 05 都 市 基 盤	<b>政策展開の方向性</b>							
	市民が暮らしやすく、いつまでも住み続けたいと思えるまちづくりを進めます。 駅を中心としたにぎわいのある拠点を創出し、子どもから高齢者、障がいのある方までだれもが安心して過ごすことのできる計画的な市街地整備の推進や、安全で快適な道路環境の確保と公共交通の活性化などによる交通環境の充実によって、暮らしやすさを実感できるまちに向けた都市基盤の形成を進めます。							
	<b>平成26年度の取組状況報告</b> （前年度の取組内容や成果指標の動向・分析を踏まえて、基本方針の進捗状況を記載）							
	05-01 市街地整備の推進							
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害に強い水道づくりのため、基幹管路(大麻送水管)の更新・耐震化を進めたことにより、個別計画の進捗状況を示す「基幹管路耐震化率」は、上昇しました。</li> <li>・安定給水の確保を図るため、老朽配水管の更新・耐震化を進めたことにより、個別計画の進捗状況を示す「漏水率」は初期値以下となりました。</li> <li>・平成27年度から水道メータの電子化を進めるため、関係団体への説明や施工に関する技術指導を行いました。</li> <li>・処理機能と安全確保の観点から、浄化センターの主要施設である水処理施設の耐震診断を実施したことにより、耐震診断率は上昇しました。また、老朽化した加圧脱水機補機機械設備や小規模ポンプ所機械設備の更新を実施しました。</li> </ul>							
	<b>政策の成果指標</b>		<b>単位</b>	<b>(初期値)</b>	<b>H26年度</b>	<b>H27年度</b>	<b>H28年度</b>	<b>目標</b>
	市街地整備に満足している市民割合(顔づくり、公園、バリアフリー化、上下水道等)		%	76.7	77.1			↗
	交通環境に満足している市民割合(道路環境、除排雪事業、公共交通)		%	57.9	60.8			↗
	水道部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況							
	「水道事業中期経営計画」 基幹管路耐震化率		%	8.8	10.0			↗
漏水率		%	4.0	3.3			→	
電子式メータ設置率		%	25.0	27.8			↗	
「下水道事業中期経営計画」 処理場、ポンプ場の耐震診断率		%	57.1	64.3			↗	

## 2. えべつ未来戦略(水道部関係分)

戦 略	■戦略プロジェクト 「関連事業」(担当課)
戦 略 1 とものつくる協働のまちづくり	
戦 略 2 えべつの将来を創る産業活性化	
戦 略 3 次世代に向けた住みよいえべつづくり	
戦 略 4 えべつの魅力発信シティプロモート	

### 3. 水道部の資源

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
水道事業会計 (千円)	収益的支出 (A)	2,522,414				
	資本的支出 (B)	1,001,801				
	合計 (A+B)	3,524,215				
下水道事業会計 (千円)	収益的支出 (A)	3,435,431				
	資本的支出 (B)	2,234,229				
	合計 (A+B)	5,669,660				
総額		9,193,875				